

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅲ		必修	2	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
齊藤 晋治 他	B308	s-saito	水曜・木曜 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;3年次までの学習を踏まえ、社会福祉専門職としての基礎的な知識を再確認し、社会福祉専門職として必要な実践的知識を習得するとともに、これまでの学習を通し、社会福祉専門職として必要な理論の獲得を目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;同時双方向授業と面接授業を組み合わせた授業展開を行う。これまで学習してきた科目の総合学習を中心に、社会福祉士、精神保健福祉士になるために必要な知識、技術、価値を理解し、専門職としての知識の定着を図る。</p>				
学習上の助言	社会福祉に関連するすべての科目について復習をおこなっておくこと。				
教科書	特に指定しない				
参考書	特に指定しない				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会福祉専門職に必要な総合的な知識を身につけることができる。			HSU(2)(6) 社精(1)(2)	
②	社会福祉分野の諸問題について理解できる。			HSU(6) 社精(1)(2)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	授業オリエンテーション、授業概要の説明、学習方法を理解する。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメの整理	4	
2	社会福祉学の概要を整理する。①	課題送付・提出・フィードバック	次回領域の確認、レジュメの復習	4	
3	社会福祉学の概要を整理する。②	課題送付・提出・フィードバック	次回領域の確認、レジュメの復習	4	
4	社会福祉の理論と相談援助を理解する。①	同時双方向型授業	次回領域の確認、レジュメの復習	4	
5	社会福祉の理論と相談援助を理解する。②	同時双方向型授業	次回領域の確認、レジュメの復習	4	
6	社会福祉の理論と相談援助を理解する。③	同時双方向型授業	次回領域の確認、レジュメの復習	4	
7	社会福祉学の総仕上げ①Training 6月26日(金)	面接授業(試験)	次回領域の確認、レジュメの復習	12	
8					
9					
10	社会福祉に関する制度とサービスを理解する。①	同時双方向型授業	次回領域の確認、レジュメの復習	4	
11	社会福祉に関する制度とサービスを理解する。②	同時双方向型授業	次回領域の確認、レジュメの復習	4	
12	社会福祉に関する制度とサービスを理解する。③	同時双方向型授業	次回領域の確認、レジュメの復習	4	
13	社会福祉学の総仕上げ②Training 7月26日(金)	面接授業(試験)	次回領域の確認、レジュメの復習	12	
14					
15					
試					

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	70	30	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	30	0	30
	思考・推論・創造する力	0	0	0	30	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	20	30
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	講義ごとに配布する課題のレジュメを時間内に取り組み。課題の進捗状況、達成度によって評価を行う。				講義の終了時に、内容と到達度についてコメントする。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義中に理解を深めるために受講生間のディスカッションを実施する。講義をただ受ける受動的な姿勢でなく、積極的に学ぶ姿勢であるかを評価する。				講義中に総評を行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>登校しての面接授業の第 11 週 (7,8,9 回) と第 15 週 (13,14,15 回) の授業は合同で実施する。よって、第 4,5,6,7 週は休講とし、補講はそれぞれ第 7,8,13,14 回に相当する。</p> <p>Microsoft Teams をつけた同時双方向型授業を行います。課題ダウンロードをおこないますので授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励します。</p> <p>尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p> <p>社会福祉専門職を目指す者は、いずれかの教員のクラスに所属すること。</p> <p>担当教員：◎齊藤 晋治、梅沢 佳裕、古川 奨、渡邊 隆文</p>							